

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第386回

ピタゴラス

の名言

発行：入試広報室

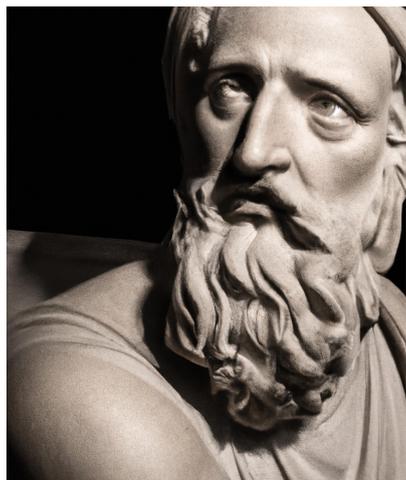
発行日：令和6年5月8日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

There is nothing so easy but
that it becomes difficult when
you do it reluctantly.

そう簡単なものは何もないものだが、あなたがそれを渋々やる限り、それは難しいものになる。



ピタゴラスは、古代ギリシアの数学者、哲学者。「サモスの賢人」と呼ばれた。ピュタゴラスとも表記される。

Column

渋々やる（ネガティブになる）理由としては、自分の課題に対する苦手意識や日常生活の中で受けたストレスなど、本当に様々だと思います。私も様々なことに対して思い悩むことも、自分の力不足に落ち込んでしまうことも多々あります。そんな時には毎回『逃げたい…』と思いますし、それでもやらなければと今回の言葉のように渋々取り組むことがあります。渋々取り組んだ時は、ポジティブに取り組むことができた時と比べると、自分の力になる効果としては低くなってしまふことは明らかですから“もったいないこと”です。それは誰もが理解していることですが『ストレス抱えてるのは自分だけじゃないんだから！』『悩んでる時間がもったいないからやめた！』とあっさり切り替えることは難しいですね。そんなモヤモヤを抱えている時にアドバイスをもらうことがあると思うのですが、受けた愛情に感謝して一刻も早く元気な自分を見て安心してもらいたいと思う反面、すぐに切り替えられない自分を責めてしまうということもよくある話だと思います。そういう意味では『毎日ポジティブに過ごすのは簡単なことではない』ということを理解しておくことが必要だと思います。

今回の言葉にもあるように、私たちがクリアしていくべき課題は簡単なものはほとんどありません。それぞれに難しさや価値（深み）があるからこそ課題意識が芽生えるのだと思います。自分を成長させる課題をクリアするために悩んでいるのであって“嫌だから”ということではないのです。『じゃあ解決しないじゃん』と思うかもしれませんが“今の時点では”という条件でその通りです。簡単じゃないから悩むのです。難しいから努力が必要なのです。だからこそクリアした達成感は何ものにも代えがたい感動を生むのです。

これからみなさんは様々な課題に直面します。そのたびに悩み、苦しみながら、仲間と協力しながらひとつずつクリアしていくこととなります。きっとクリアできます。突然パワーUPはできません。まずはクリアできる自分になるために、共に戦ってくれる仲間を作りましょう！そして、自分と仲間期待しながら、少しでもポジティブに取り組んでいきましょう！正智深谷高校はそんな仲間を作る最良の舞台です！